

「TSHレセプター抗体定量(TRAAb 定量)」 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査方法等を変更させていただくことになりましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目/変更内容

項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧	案内書掲載頁
3484	TSHレセプター抗体定量 (TRAAb定量)	検 体 量	0.8 mL	0.5 mL	P38
		検 査 方 法	CLEIA	ECLIA	
		報 告 範 囲 (単 位)	0.5未満、 0.5~49.9、50.0 以上(IU/L)	0.8未満、 0.8~39.9、40.0 以上(IU/L)	
		報 告 桁 数	有効3桁、整数8桁、小数1桁	有効3桁、整数7桁、小数1桁	

※基準値、単位に変更はございません。

変更期日

- 令和3年9月30日(木) 受付日分より

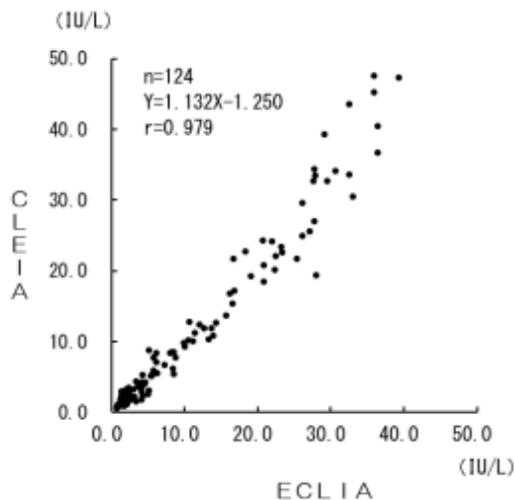
●TSHレセプター抗体定量(TRAAb 定量)

甲状腺の濾胞上皮細胞膜に存在する甲状腺刺激ホルモン(Thyroid stimulating hormone:TSH)の受容体に対する自己抗体であるTSHレセプター抗体(TSH receptor antibody:TRAAb)は、TSHレセプターと結合することにより甲状腺ホルモンの合成を促進し、バセドウ病における甲状腺機能亢進症の発症要因となります。

TSHレセプター抗体の測定は、甲状腺機能亢進症におけるバセドウ病の鑑別診断に有用です。

エスアールエル検討データ

●相関図



(カットオフ値による一致表：単位 IU/L)

		ECLIA		計
		2.0≤	<2.0	
CLEIA	2.0≤	86	2	88
	<2.0	11	25	36
計		97	27	124

●参考文献

矢野 美沙希, 他:医学と薬学 77(5):793~804, 2020. (検査方法参考文献)

古田島 伸雄, 他:日本臨床検査自動化学会会誌 39(1):39~43, 2014. (臨床的意義参考文献)